

## 府中市卓球連盟 50 年のあゆみ



会 長  
高橋 一夫



副会長  
市川 昭次



副会長  
小林 哲夫



副会長  
市川 敦子



理事長  
小野寺 淳

卓球連盟設立年月日 昭和 33 年 2 月 16 日

体協協会加盟年月日 昭和 33 年 2 月 16 日

愛好会会長 松本三郎 昭和 28 年 4 月～昭和 33 年 2 月（卓球連盟の前身卓球愛好会の期間）

歴 代 会 長 在任期間

初代 荻野丑松 昭和 33 年 2 月～昭和 42 年 5 月

2 代 高橋一夫 昭和 43 年 4 月～ 現在に至る

事務所 高橋一夫宅 府中市八幡町 1 - 1 5 - 1 2 電話 042-363-7184

加盟状況 92 団体 615 名 内訳 男子 39 団体 287 名 女子 53 団体 328 名

（平成 19 年 10 月 1 日現在）

府中の卓球もやはり戦前にさかのぼり、銀座商店街西側（現在宮町けやき並木付近）にあつた卓球場で行われていた。戦後も続けられていたが卓球用具のボールや台の規格変更によりいつしか閉店と消えてしまった。しかし、ここで灯された卓球の灯は愛好者の卓球熱として受け継がれてくるのです。

その後西垣卓球場（美好町 1 丁目）が開設され多くの卓球愛好者は、卓球おばさんを慕って集まり、府中市の選抜選手の合同練習も行なわれ活況を呈しました。大先輩、元日本卓球協会参与・永久名誉会員であった井坂信太郎先生（押立町在住 2001 年 4 月逝去）も西垣卓球場の愛好者であった。

昭和 28 年「府中で卓球クラブ」をと、当時東芝府中工場卓球部監督波多野文蔵氏等が中心に事業所や愛好者に呼びかけ、第 1 回町民卓球大会を開催すべく集まりが宮町行在所の一室で裸電球明かりのもとで開かれ、多くの愛好者で会の発足に向け協議が続けられました。

そして愛好会が発足し、会長に松本三郎氏（当時教育長）、理事長に波多野文蔵氏を選出し、記念大会としてその年 4 月に第一回町民卓球大会を第一中学校講堂で開催することができました。

昭和 29 年市制が施行され、愛好会も活発になり市長杯、新人戦、リーグ戦と参加者も多くなり、会場の確保が一小・一中講堂、農業高校体育館、刑務所武道館など借用に役員が手分けして走り回った。卓球台を借り集めて会場づくり、プログラムの作成等、夜遅くまで作業、積極的に参加してくれた団体、選手の労苦健闘が今日の卓球連盟発展の基礎、原動力になったものと確信しています。



昭和 33 年 2 月府中市体育協会が発足されるに一団体として協力すべく「府中市卓球愛好会」を發展的に解散し、府中市体育協会設立に参画、名称も「府中市卓球連盟」と改め活動を開始して本年府中市体育協会 50 周年と同じく、「府中市卓球連盟」も創立 50 周年を迎えました。

連盟発足に伴い永年愛好会会長として卓球愛好者の絆を大事にしてきた松本三郎氏が勇退され、会長に荻野丑松氏（当時大国社長）、副会長に須藤万五郎氏（市役所）、理事長に波多野文蔵氏がそれぞれ就任されました。

発足当時加盟団体は、東芝府中工場、日本製鋼所、府中市役所、府中基地福祉会、ビクターオート、府中郵便局でスタートしました。その少し後、東京農工大学、片町青年団などが加入したようです。

初代会長荻野丑松氏は就任以来、10 余年にわたり連盟発展に尽力されてきましたが、昭和 43 年病に伏し薬効もなく志半ばにして急逝されたことは連盟にとっても痛恨の極みでありました。

連盟も徐々に加盟団体が増え、年間の行事も少しずつ充実した大会として行われるようになりました。市民体育大会卓球競技も当初は個人戦、団体戦のみで日程も一日でした。卓球台も少なく夜の 9 時を回ることは常でしたが、年々出場者も多くなり種目も増え盛況となり日程も現在の三日間となりました。50 周年を迎えた現在、当時を思いながら多くの先輩たちに盛大になったことを報告すると共に感謝の気持ちでいっぱいです。

一方、府中市を代表する選手を多くの対外試合に派遣し好成績を収めるようになりました。

1963 年第 1 回多摩地区大会（通称 日米親善体育大会）に参加し、小金井市との優勝決定戦（会場は調布市）は、大熱戦の末府中市が優勝をすることができたのは、東芝府中松村隆雄選手の活躍とベンチ応援団が一丸となった勝利でした。

また、昭和 38 年(1963 年)の市民体育大会で個人戦、ダブルス戦、混合ダブルス戦を優勝、団体戦優勝に貢献し、全種目優勝を成し遂げた東芝府中女子選手堀江智江さんの記録はギネスに値するものです。



多摩地区大会のメダル  
(小野寺理事長所持)

府中市で卓球が現在のように多くの愛好者で賑わうのは、府中市主催で卓球連盟がお手伝いをした昭和 40 年代初期からのスポーツ教室で行われた卓球教室が、参加された愛好者達、特に家庭婦人のスポーツ熱は社会進出のきっかけとなり、後の府中市スポーツの生活化施策に大きな貢献をすることとなりました。

小中学校の講堂や体育館で卓球を楽しむ新たな自主グループができ、連盟に登録加盟してくれたので加盟団体数は飛躍的に増加し、事業も拡大してきました。

各種大会が充実してくると、審判員養成の声も高まり昭和 47 年 4 月に東京卓球連盟より講師を招き講習会を開催したのが最初でした。その後数回にわたり講習会を実施し公認審判員の充実を図り、審判部を中心として大会運営の活動も出来るようになりました。

昭和 60 年以降連盟役員、選手として活躍された鵜飼圭子さん（平成 15 年 3 月 14 日逝去）を中心として府中市の女子選抜選手は素晴らしい活躍を見せました。勿論各種国際大会への出場経験のある市川敦子さん（現副会長）の加入は大きな力であったことは隠しえません。

都下市町村体育大会卓球競技では第 20 回（1986 年）、第 22 回、第 27 回、第 28 回に優勝するなど、圧倒的な強さを誇っていました。

鵜飼圭子さんは、昭和 63 年全日本軟式卓球選手権大会女子フィフティの部で優勝（日本ランキング第 1 位認定）を果たすなど、府中市卓球の名声を対外的にも高めてくれました。

昭和 50 年代に入り府中市立第 5 中学校卒業生須田勝己選手が、全国青年大会個人戦で初優勝したことをきっかけに、若手に青年大会出場の目標ができ活発に参加するようになりました。

しかし、東京都予選を勝ち抜くことも至難の業でした。

平成 5 年ついに全国青年大会を制覇、団体戦に優勝、男子個人戦で渡辺千彰選手優勝、戸田純一選手準優勝（両選手 N E C 府中）と輝かしい成績を上げることができたのです。初全国制覇の祝賀会を加盟団体の皆さんとともにグリーンプラザで行った時のことが記憶に残る思い出です。

平成 8 年にも団体で三位、個人戦では渡辺千彰選手の 2 度目優勝は府中市の実力を全国に示しました。さらに後輩が続き平成 17 年の参加で団体 3 位に入賞、個人でも中利之、富松嘉明両選手が活躍し上位入賞の成績は素晴らしい結果でした。（③写真掲載）

一流スポーツ選手のプレー観戦や一流選手とのふれあいスポーツ事業も実施してきました。

昭和 61 年度 押立体育館落成記念 トップチーム日産自動車と大正大学選手による模範試合の実施  
（①写真掲載）

昭和 59 年度 '62 世界チャンピオン郭躍華選手、黄統生選手（中国）を招いて講習会（ニッタク後援）

平成 9 年度 卓球連盟 40 周年事業 '89、'97 世界選手権優勝 J.O ワルドナー選手（スウェーデン）等を招き世界の天才プレーヤーの妙技を観戦

平成 14 年度 卓球連盟 45 周年事業（②写真掲載）

一流スポーツふれあい事業として福原愛選手

（青森県山田中学校）を招き実施した

多くの中学生、高校生が直接愛ちゃんとプレー

でふれあうなど感動の日でした



市内小中学校体育館の夜間開放、地域体育館での活動を中心 渡辺拓也君（四中）愛ちゃんに挑戦  
として卓球熱がさらに加速し、近郊都市選手への参加を呼びかけ、

府中オープン卓球大会（④写真掲載）、ニッタク杯府中レディース卓球大会の開催となり、八丈島など遠方からの参加もあり、府中市恒例の大会として定着し、例年大勢の参加者で盛大に開催されています。

府中六中出身で現在実業団トップチーム、シチズン時計に所属し活躍する並木佑介選手、9 小出身で今年大正大学に進学して活躍が期待される菊池さやか選手は、府中の期待の星として頑張っています。

平成 25 年(2013 年)東京国体が多摩地域で開催となり、卓球競技は府中市が開催都市と決定しました。栄えある 50 周年の記念すべき年に、国体開催都市の決定は、新しいスタートとして連盟役員及び会員が大会の成功に向けて一丸となって邁進していくことが大事と決意しています。



田中満雄選手（シチズン時計）の実技指導

国体開催決定を契機に府中市のジュニアから国体出場を目途に選手育成事業を立ち上げ、具体的な指導方針を掲げ指導者に実業団、大学で活躍している選手を招請し、東京都代表選手を目指して育成していくことが連盟としての重点課題としています。

こうした事業の継続は府中市体育協会のご指導をいただいていた賜物であり感謝を申し上げます。50 年を節目に N P O 法人府中市体育協会の知恵をお借りし、更なる市民スポーツの向上発展のために限らない努力を重ねてまいります。

☆写真でみる事業



←①昭和 61 年 7 月 13 日 (日)  
 押立体育館落成記念  
 一流スポーツ観覧事業として  
 日産自動車、大正大学の卓球部選手を  
 招き模範試合を行い施設オープニ  
 グ行事として実施し、多くの市民に感  
 動を与えました

[平成 14 年 8 月 26 日 (月) ②→  
 福原愛選手 愛称「愛ちゃん」  
 を招いて記念撮影]  
 前列左から 6 人目愛ちゃん、  
 右となり野口市長、小島体協会長  
 一人おいて高橋連盟会長  
 創立 45 周年記念事業として実施



←③平成 17 年全国青年大会東京都推薦で出場  
 府中市選抜 (監督 市川敦子 前列右)  
 団体の部 第 3 位入賞  
 個人の部  
 優勝 中 利之選手 (市役所) 後列左  
 準優勝 富松嘉明選手 (杉の子) 後列右  
 阿部 安幹 (武蔵の台クラブ) 後列中央  
 上野由紀子 (やよい) 前列左

平成 19 年度

第 19 回府中オープン卓球大会 ④→  
 平成元年総合体育館全面改築記念に始めた  
 オープン大会も近郊都市から多くの有名選手  
 も参加するようになり、府中市民の技術向上  
 に大きな役割を果たしてきている

